



Antiques *Midi

Vol.19
FREE PAPER
SUMMER 2025

❁ フランス、イギリスで見つけたアンティーク家具とインテリアアイテムを扱うアンティークショップのフリーペーパー第十九号 ❁



アンティークスミディ
〒562-0035 大阪府箕面市船場東1-9-6 3F
Tel / Fax 072-728-4777
Open 12:00 ~ 19:00
Hp → <http://www.antiques-midi.com>
Mail → info@antiques-midi.com
Instagram → @antiquesmidi

Cours de français en *Midi
—ミディのフランス語講座—

椅子と同様に、
テーブルにも細かな分類があります。
テーブル全般のことを、table (ターブル) といい、
スペルは英語と同じなので、覚えやすいです。
発音や冠詞で英語なのかフランス語なのか
区別ができますね。



Table
/tabl/ ターブル/
[女] テーブル, 卓, (脚付きの) 台, 机。

天板が開閉できて、広げるとデスクになる家具を
英語や日本語でライティングビューローと呼ぶので、
bureau (ビューロー) は聞き馴染みのある方も多いはず。
フランス語で、bureau は事務机やオフィスなどという意味を持ち、
英語でいう Desk に近い単語。



Bureau
/byro/ ビューロー/
[男] オフィス, 机, デスク

Secrétaire
/s(ə)kretɛ:r/ スクレテール/
[男] ライティング・デスク

日本語ではビューローと呼ばれているタイプのデスクのことは
逆に、フランス語ではビューローとは呼ばないようです。
フランス語では、secrétaire と呼ばれ
隠すや秘密 (secrète) という意味から派生した言葉になるそう。
同じ単語なのに、意味合いや認識が全く変わってしまうのも面白いですね。

Guéridon (ゲリドン) は小さめの丸いテーブルのこと。
ソファやアームチェアの隣に合わせられるような少し高さが低めのテーブルを指すようで、
背の高いカフェテーブルなどは厳密にいうとゲリドンではないようです。



Guéridon
/gerido/ ゲリドン/
[男] (1脚式の) 小円卓

スラリとした4本脚のラウンドテーブルも
ゲリドンと言えなくもないですが、
このようなテーブルはフランスでは
花台として認識されていることが多く
花台を意味する Selette (セレット) と
呼ぶ方が適しているようです。



Chevet
/ʃ(ə)vɛ/ シュヴェ/
[男] 枕元

ナイトテーブル=Chevet が
アンティーク業界では通称になっているようで、
フランスでの買い付けの際はシュヴェだけでも通じるそう◎

英語や日本語ではナイトテーブルと呼ぶこの家具は
Table de Chevet (ターブル・ド・シュヴェ) と呼ばれています。
フランス語で Chevet には枕元という意味があり、
“枕元のテーブル” という意味になります。

おそらくフランスにしかない!?

ユニークな家具 *semainier* スメニエ。
スメニエとは曜日付きのダイアリーのことを指しますが、
このような7段の引き出しを持つチェストも同じく
スメニエと呼ばれています。
月曜日から日曜日まで7つに分けて収納ができるので
細やかな仕分けにぴったりです。
服を入れるもよし、アクセサリなどの小物を入れるもよし。
こどもだったら、学校の時間割に合わせた教科書や持ち物を
一週間分入れておけば、忘れ物をすることがなくなりそう!
などなど、いろんな使い方が想像できます。
それにしてもフランスの方の発想ってなんて可愛いのでしょう。



Semaine
/s(ə)mɛnje, ɛ:r/ スメニエ/
[男] 七曜表; 曜日付きデスクダイアリー



Midi でも人気の高いフランスならではの雑貨・ジャルディニエール。

直訳すると「プランター」という意味があり、
元々は土を入れて植物を植えたり、
水を入れてお花などを飾ったりする花器です。
「庭」という意味のジャルダン (Jardin) に
エール (ère) という言葉がくっついてできた単語で、
エールには「〜に使う道具」という意味があるそう。
つまりジャルディニエールは、「庭で使う道具=プランター」
ということになりますね。

エールをプラスすることで、道具に変身する言葉は他にも色々あって、
スープを入れるための器はスービエール、
ソースを入れる器はソーシエール
左ページで登場したコンフィチュールを入れておくための棚は、
コンフィチュリエと呼ばれています。

ただし、ここで忘れてはいけないのが、フランス語には性別があること ...
語尾につける「エール」は日本語的には大きな違いはないように見えますが
フランス語では変形後の性別に合わせて、「er」か「ère」どちらかを
足す形となりスペルや発音も変わってきます。

One Point Lesson

名詞 + エール (〜に使う道具) = 家具や雑貨
女性名詞の場合 ère
男性名詞の場合 er

[男] から [女] へ、その逆の [女] から [男] へ
変化する単語もあるなんて ...
難しすぎるフランス語の世界。



Semaine
Lundi
Mardi
Mercredi
Jeudi
Vendredi
Samedi
Dimanche

étage [男] + ère = étagère [女]
エタージュ (階、階層) エタジュール (棚、棚板、飾り棚)

Semaine [女] + er = Semainier [男]
週 スメニエ (7段チェスト)

スメニエも、週や一週間を意味する Semaine に
エール (〜に使う道具) を足して派生した単語。
一週間分の (7つの) 引き出しを持つ家具という意味になります。



Jardinière

Jardin [男] + ère = jardinière [女]
ジャルダン (庭) ジャルディニエール (プランター)



Soupière

Soupe [女] + ère = Soupière [女]
スープ スービエール (スープポット)



Saucière

Sauce [女] + ère = Saucière [女]
ソース ソーシエール (ソースポット)



Bonbonnière

Bonbon [男] + ère = Bonbonnière [女]
キャンディ ボンボニエール (キャンディポット)



étagère

Confiture [女] + er = Confiturier [男]
コンフィチュール (ジャム) コンフィチュリエ (ジャム入れ)

Confiturier

男性名詞の場合、
エールのルを
ほぼ発音しないので、
カタカナでは
ムタディエや
コンフィチュリエと
表記の方が違いが
わかりやすいですね。



Moutardier

Moutarde [女] + er = Moutardier [男]
ムタード (マスタード) ムタディエ (マスタードポット)

Column
2

丸いワインボトルが
デミジョンボトルと呼ばれる理由

*Midi でも取り扱いの多いデミジョンボトル。
ぼったりとしたフォルムに、ゆらゆらとした表情、
手吹きで作られているためひとつひとつ個性差
があり、どこか歪ながらも愛嬌が感じられる
アイテムです。
元々はワインの貯蔵や運搬のために使われていたもので、割れないように
木や藁などで編んだバスケットのようなものに包まれていて、その藁を
取り外すと、この丸いガラスのボトルが姿を表します。



元々ワインボトルなのに、なぜワインボトルではなく、デミ
ジョンボトルと呼ぶのでしょうか? そもそも「デミジョン」って
どういう意味? と思った方もいるかもしれません。
実はデミジョン (demijohn) は “dame-jeanne” が語源となっ
ており、これを直訳すると “ジェーン夫人” という意味になります。
デミジョンボトル特有のこの丸いフォルムが、ふわりと大きく
広がったドレスを纏った夫人に似ていたからこう呼ばれ始めた
のだそう。
このエピソードを知ると、お店やネットショップに並ぶ、デミ
ジョンボトルがみんなふんわりドレスを着た上品なご婦人
たちに見えてきますね。



Cours de français en *Midi

— ミディのフランス語講座 —



現在*Midiで取り扱っているアイテムはフランスからやってきたものがほとんど。年に5~6回ほどの頻度でオーナーが直接フランスに足を運び、目で見て選び、直接買い付けています。

様々なフランスの家具や雑貨と関わる中で、日本語にはないフランス語独特の、家具の呼び名があることを知りました。

例えば、日本語もしくは英語では、大きな扉がついた箱物家具のことは総称して“キャビネット”と呼ぶことが多いですがフランス語では“キャビネット”の中でもさらに細かく分類した呼び名があり両開きの扉がついたものはArmoire (アルモワール) 片開きの扉がついたものは, Bonnetière (ボンティエール) ガラスの扉がついたものは Vitrine (ヴィトリース) サイドボードやカップボードのような引き出しがある大きなキャビネットは Buffet (ビュッフェ) 引き出しと片開き扉が付いた小さなキャビネットは Confiturier (コンフィチュリエ) などと分けることができます。

今回の号では、よくあるフランス語講座とはちょっと (いや、かなり) 違うアンティーク屋ならではの、家具や雑貨にまつわるユニークなフランス語をご紹介します。

観光メインの旅行の際にはあまり役に立たないものばかりかと思いますがフランスアンティークハントの旅になら、少しは役立つかも知れません。



Armoire
/armwa:r アルモワール/
[女] (開き戸式の) 衣装だんす, 整理戸棚



Buffet
/byfe ビュッフェ/
[男] 食器棚, サイドボード



Bonnetière
/bɔntje, ε:r ボンティエール/
[女] 小さめのたんす



Confiturier
/kɔfityrje, ε:r コンフィチュリエ/
[男] (食卓用の) ジャム入れ



Vitrine
/vitrin ヴィトリース/
[女] (美術品, 貴重品などを収納する) ガラスケース, ショーケース, 陳列棚



Chaise
/ʃe:z シェーズ/
[女] 椅子 (いす)

チェアの分類もとても細かく、一般的な椅子は chaise (シェーズ) と呼ばれ、アーム付きの椅子のことは fauteuil (フォトイユ) と呼ばれています。英語では、「チェア→アームチェア」日本語では、「椅子→肘掛け椅子」と補足の説明をするために単語を追加する形で変化しますが、単語そのものがガラッと変わってしまうのがフランス語の面白いところ。

Banquette (バンケット) と Banc (ボン) どちらも長椅子を指します。Midi で時々扱っているピアノ用の腰掛けのような長方形や楕円の背もたれのない椅子がまさに Banquette. 座面だけ藤張りや布張りになったものがアンティークでは多いですが、レストランなどの壁際に置かれた長椅子や、電車の座席なども Banquette と呼ぶのだそう。一方 Banc は、座面とフレームが同じ素材のものを指し大衆食堂や修道院などに置かれているような木で出来たベンチが代表的です。どちらも背もたれの有無は問わず、素材や使われ方 (使われる場所や用途) によって呼び名が変わるようです。



Banquette
/baket バンケット/
[女] (背もたれのない) 長椅子 (いす), ベンチ, (電車などの) 座席; (自動車の) ベンチシート

屋外の椅子でも屋内の椅子であっても背もたれ有り肘掛け無しの椅子は Chaise 背もたれ有り肘掛け有りの椅子は Fauteuil と分類されています。



Tabouret
/tabure タブレ/
[男] (ひじ掛け, 背のない) 椅子 (いす), スツール



Tabouret de Piano
ピアノ用椅子

英語や日本語でスツールと呼んでいる背もたれのない丸や四角の椅子は tabouret (タブレ) と呼ばれています。さらにピアノ用のタブレならタブレドゥピアノ (ピアノスツール) と変形します。この変化は日本語や英語とも似ていてわかりやすいですね。



Fauteuil
/fotœj フォトイユ/
[男] 肘掛け椅子 (いす)



Banc
/ba ボン/
[男] ベンチ, 長椅子 (いす)

ちなみにフランス語でソファは Canapé (カナペ) と言いますが、このようなソファはカナペというよりバンケットと認識されるようです。カナペはもってクッションがふかふかしていてフレーム部分までファブリックで総張りされたような大きなソファを指します。

Column 1

フランスの家具には性別がある？

奥深いフランス語の世界... ここまで一緒に学んできて、それぞれの単語の説明部分にある [男] [女] の表記が気になった方も多いはず。フランス語を少しでも嗜んでいる方であれば、もはや常識かも知れませんが、フランス語ではすべての名詞が実は性別を持っています。それはもちろん、家具も例外ではありません。辞書で調べると、名詞には [男] [女] の表記が必ず載っています。“これは見た目が女性っぽいから女性名詞” というような感覚的なものではなく、昔からそう決まっているもの。その単語が男性名詞か女性名詞で冠詞が変わってくるのでフランス語の学習には、単語を覚えるのと同時に名詞の性別も覚えなくてはなりません。日本語には冠詞という概念がないので、より一層難しい話ですが、英語に置き換えると理解しやすいですね。

不定冠詞 One Point Lesson

英語の [a / an]
・不特定多数のものの中の 1 つを指す名詞
・単数形で、会話の中で初めて話題に上がる名詞

フランス語の場合、この不定冠詞が男性名詞か女性名詞かによってこのように変化します。

男性・単数 「Un」 アン
女性・単数 「Une」 ユヌ
男女・複数 「Des」 デ

上記でご紹介した家具に置き換えてみると... 初めて話題に上がるアーム付きの椅子は、Un Fauteuil (アン フォトイユ) アームのない椅子は、Une Chaise (ユヌ シェーズ) となるわけですね。

定冠詞 One Point Lesson

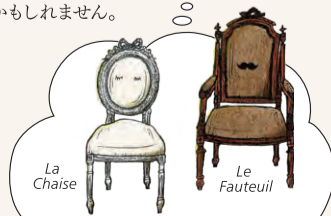
英語の [the]
・文章や会話の中にすでに一度登場している名詞
・常識的に世界に 1 つしかないものを表す名詞
・海洋、海峡、河川、運河、山脈、砂漠などの一部の固有名詞

定冠詞の場合は、このように変化します。

男性・単数 「Le」 ル
女性・単数 「La」 ラ
男女・複数 「Les」 レ

上記でご紹介した家具に置き換えてみると... すでに話題に上がっているアーム付きの椅子は、Le Fauteuil (ル フォトイユ) アームのない椅子は、La Chaise (ラ シェーズ) となります。

フランスの人たちは、この名詞の性別まで全部覚えているなんてすごいと感じますよね。しかしネイティブの人たちはいちいちこの単語は男性で... とか頭で考えて、変換している訳ではなく、言葉を覚え始めた幼い頃から“名詞は常に冠詞もセットで”音で覚えているようです。実際に、子ども向けのフランス語の絵本にも冠詞がセットで載っています。これからフランス語を学んでみようという方は、冠詞もセットで単語を覚えることがおすすめです。頭の中のイメージと結びつけて覚えるのもいいかもしれません。



Recommend

Vitrine

キャビネット



引き出しがたくさん設けられた個性的なキャビネット。上部の扉収納部の内側はブルーカラーにペイントされており、個性ある装いが魅力のひとつ。ちょっとした小物を乗せることができる収納式の小さなテーブルも付いていて遊び心のある一品。

[France 19世紀]

Chaise longue

シェーズ・ロング



脚を伸ばしてゆったりと小休憩ができるアンティークソファ。上品な艶感のあるブラウンのフレームはしなやかな曲線を描くシルエット。光沢感のあるファブリックを贅沢に纏い、ボタン留め仕上げの格式高いデザインがお部屋の雰囲気をぐっと高めてくれそう。

[England 19世紀 ヴィクトリアン]

Miroir Trumeau

トゥルモウミラー



コンソールテーブルやマントルピースの上に置き、壁面の一部として飾り付けられていた大型のミラー。たっぷりのお花があしらわれたエレガントな姿で、パッと目を引き寄せる見目麗しいアイテムです。

[France]

Plateau en Papier Mâché

パビエマシエトレイ



紙をぎゅうっと圧縮し、膠を塗って固められたもので、木材のような硬度と紙ならではの軽さを持つ良いとこ取りなアイテム。緩やかに波打つシェルのようなフォルムにマットなブラック×ゴールドの配色が甘すぎないロマンチックなデザインとなっています。

[France 19世紀 ナポレオン3世時代]

Marché aux Puces de *Midi

ミディ蚤の市レポート



昨年 2024 年 10 月、2 日間にわたってミディ蚤の市 - Marché aux Puces de *Midi - を開催しました。単独でのイベントは初めての試みだったので、どれくらいのお客様が来てくださるのだろうか... 来てくださったお客様に楽しんでもらえるだろうかと当日を迎えるまでオーナー & スタッフもドキドキでした。

そしていざ迎えた当日。2 日間ともたくさんのお客様にお越しいただけ、「楽しかったよ」「また開催してほしい!」とのお声をたくさん頂戴し初の単独イベントは大盛況に終わりました。

ミディ蚤の市のコンセプトは、本場フランスさながらの蚤の市。フランスをはじめヨーロッパでは、毎週のようにあちこちで蚤の市が行われています。普段は静かで落ち着いたストリートや広場も週末になるとたちまち大賑わい。

蚤の市は、なんとと言っても安さと気軽さが魅力です。店主との会話や交渉を楽しんだり、掘り出しものを見つけるのも楽しい。ガラタのようなものが混ざっていたり、中にはこれ何に使うの? という謎のアイテムが見つかることも。笑



お客様にもそんな本場の蚤の市気分を味わっていただきたく、ミディ蚤の市では、普段はお店やネットショップに並ばないアイテムやメンテナンス前の家具、パーツやキャビネットの扉、プチポワンなどの端切れ、お皿や洋書などなど...! 訳あり品、B 品なども含め、なるべくお安く、お買い得なアイテムをたくさんご用意しました。

AM 11:00
Open!

AM 11:00 蚤の市がスタートすると続々とお客様が入場。初日のオープン時間はやはり争奪戦で、みなさん目的のアイテムへまっしぐら。目利きの速さはバイヤーさながら。直感でビビビ!と来たものを選んで下さるようでした。



普段ミディで販売している家具はどれもしっかりとメンテナンスをしていますが、蚤の市では基本的にメンテナンスなしでその分安く販売をしました。

実用ではなくディスプレイとして使ったりご自身で手を加えたり、工夫が必要なジャンク品も多かったのですが普段のミディとはまた一味異なる雰囲気をお楽しみいただけたのでは... と思います。



手に取りやすい雑貨系が人気かな? という予想でしたが、大きな家具やアイアンなどの建具も人気でした。

中でも一番人気はチェアかなと思います。たくさんご用意をしていたつもりですが、どんどん数が減ってしまったので途中でオーナーが倉庫を探してチェアを追加投入する一幕もありました。



お昼を過ぎると混雑が少し落ち着き、常連のお客様とお話したりディスプレイをまた少し変えたり。ゆっくりと雰囲気を楽しみたい方は午後に来られるのもおすすめです。



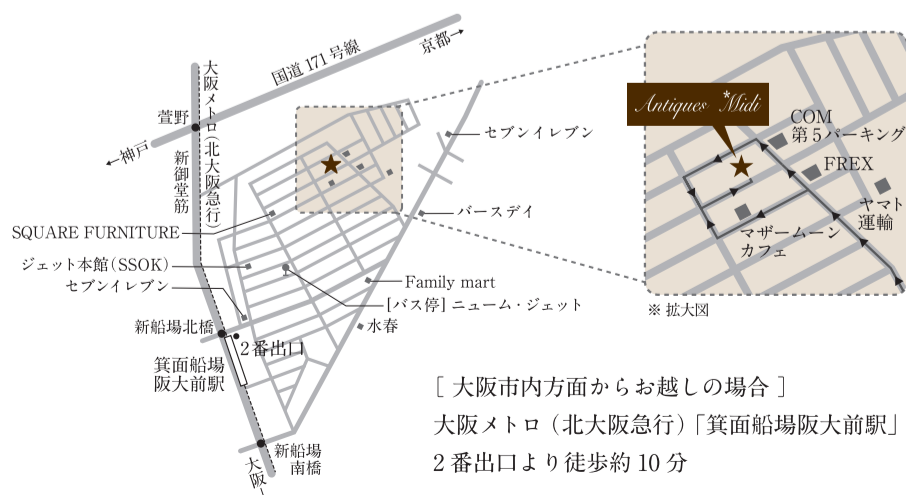
初の試みということもあり、手際の悪さや、行き届かない点もたくさんあったかと思いますが改善に努め、もっともっと楽しんでいただけるイベントにブラッシュアップしていきたいと思いますので楽しみにお待ちいただければ嬉しいです!

(次回日程は未定ですが、開催決定の際はホームページや Instagram でお知らせさせていただきます。)

Antiques *Midi info



〒562-0035
大阪府箕面市船場東 1-9-6 3F
Tel / Fax 072-728-4777
Open 12:00 ~ 19:00
定休日なし (年末年始を除く)
駐車場有り
<http://www.antiques-midi.com>



[大阪市内方面からお越しの場合]
大阪メトロ (北大阪急行) 「箕面船場阪大前駅」下車
2 番出口より徒歩約 10 分